

令和3年9月14日(火)  
国土交通省大宮国道事務所  
さいたま市建設局土木部道路環境課

## 記者発表資料

# 生活道路の安全性向上のため 仮設スムーズ横断歩道及び仮設ハンプの 試行的設置による実証実験を行います

～さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区におけるETC 2.0データを活用した安全対策～

国土交通省大宮国道事務所とさいたま市建設局が協力し、ビッグデータ（ETC2.0データ）を活用した生活道路の交通安全対策を進めております。

ETC2.0データを活用し、さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区において、抜け道利用車両が多く、走行速度が30km/hを超える走行車両の割合が高い道路を抽出しました。

今回、実証実験として抽出した道路を対象に、仮設スムーズ横断歩道と仮設ハンプを試行的に設置し、「流入交通量の抑制」、「走行速度の低減」、「歩行者横断時の車両停止率の変化」を確認します。

### 【実施概要】

■設置期間：令和3年9月17日（金）～10月13日（水）

■設置場所

- ・仮設スムーズ横断歩道 さいたま市大宮区三橋4丁目106番地先
- ・仮設ハンプ さいたま市大宮区三橋2丁目568番地先

※設置工事は令和3年9月16日（木）9：00～17：00を予定しています。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

### お問合せ先

【ビッグデータ（ETC2.0データ）を活用した分析に関すること】

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 電話 048-669-1200（代表）

副所長 渡邊 正（わたなべ ただし）

交通対策課長 平 哲治（たいら てつじ）

【仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプの設置等に関すること】

さいたま市 建設局 土木部 道路環境課 電話 048-829-1490

道路環境課長 齋藤 佳孝（さいとう よしたか）

# さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区において 仮設スムーズ横断歩道・ハンプを試行的に設置します

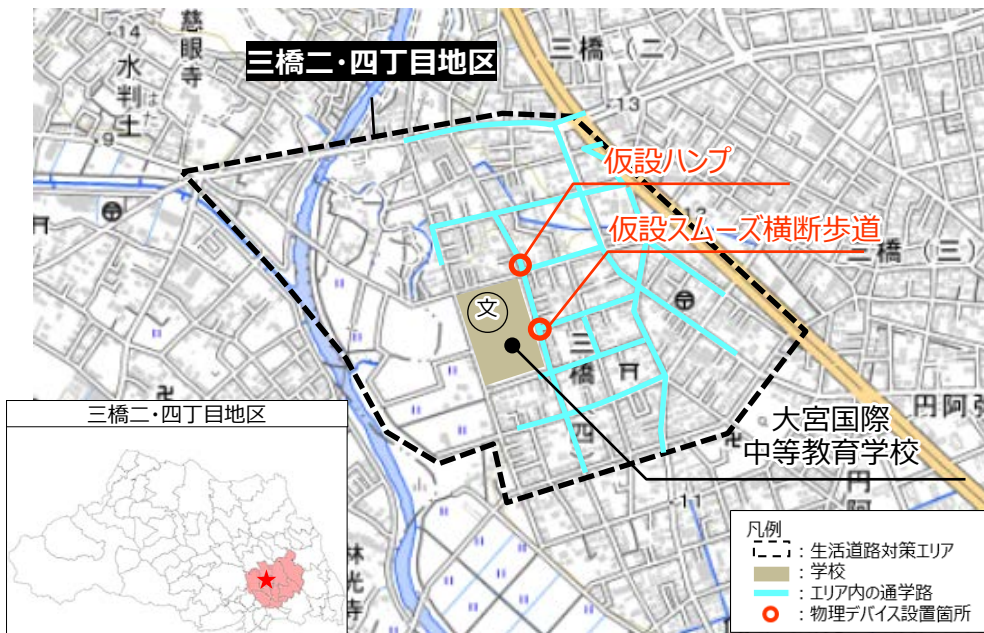
## ○現状

○ETC2.0データの分析により、さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区内の大宮国際中等教育学校の東側道路（通学路に指定）は、抜け道利用車両が多く、走行速度が30km/hを超える走行車両の割合が高い道路であることが確認されています。

○現地視察により、学校前の横断歩道において、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合でも、一時停止しない車両が確認されています。

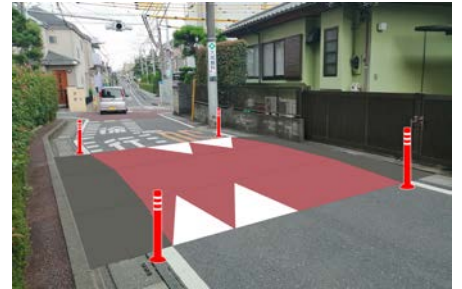
## ○実証実験の内容

○仮設スムーズ横断歩道を1箇所、仮設ハンプを1箇所設置し、「流入交通量の抑制」、「走行速度の低減」、「歩行者横断時の車両停止率の変化」を確認します。



この地図は、国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して作成しています。

▼仮設ハンプ設置イメージ図



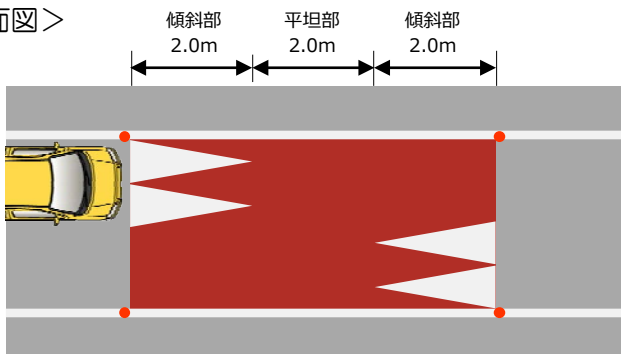
▼仮設スムーズ横断歩道設置イメージ図



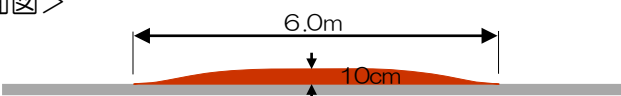
### ○ハンプとは

道路上に設置する凸型の構造物で、通行する自動車の速度抑制の効果ががあります。

<平面図>



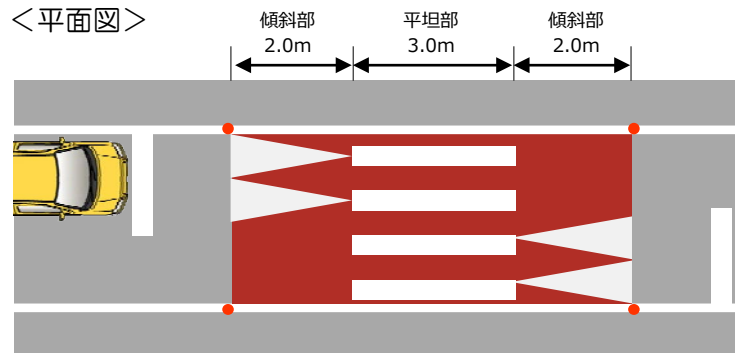
<断面図>



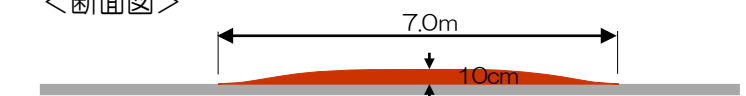
### ○スムーズ横断歩道とは

横断歩道部に設置するハンプのことで、自動車の速度抑制効果や歩行者の視認性向上・横断歩道の停止率向上の効果ががあります。

<平面図>



<断面図>



# さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区 における交通安全対策のこれまでの取り組み

地域のみなさまと関係機関（警察、国土交通省、さいたま市(教育機関含む)）で地域の課題や対策方針を考える2回の検討会を開催し、今回の試行的設置の実証実験に至りました。

## ステップ1 地区の課題を知り対策を考える

### 第1回 (2019.11.26) 対策検討会

- 対象エリアの課題について意見交換を行うとともに、ETC2.0の交通分析結果を提供し、どのような対策を行うべきかを議論しました。



## ステップ2 実証実験の実施説明

### 第2回 (2021.7.20) 対策検討会

- 仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプの試行的設置による実証実験について説明するとともにその他の課題について議論しました。



## ステップ3 実証実験の実施

2021.9.16~10.13 実証実験の実施（仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプ）

## 今後の予定 実証実験の効果把握

今後は、実証実験中の交通状況についてETC2.0データを活用した交通分析を実施するとともに、地元関係者等を対象にアンケート調査を実施する予定です。また、第3回 対策検討会を開催し、今後の対策について議論いたします。

## ○ETC2.0データによる現況分析

- ETC2.0データにより実証実験を実施する道路の現況分析を行ったところ、走行速度が30km/hを超える車両は約54%あり、速度抑制対策が必要であると考えられます。

### ▼実証実験の対象道路



### ▼通学路区間の速度割合

